

～ようこそ！知のフィールドへ～

生活のしづらさを捉え、支援につなげるために —「作業機能障害」の視点から—

日 時 2026年 9 月 19 日 (土) 10:00～12:00 (受付 9:30～)

会 場 高知県立大学池キャンパス 共用棟 2 階 大講義室 (高知市池2751-1)
※駐車場は、池キャンパス南駐車場をご利用ください

申 込 2 次元コードよりお申込みください (締切9/14(月))

申込み用
2次元コード

参加費 無料

講 師 清家 庸佑 (高知県立大学 社会福祉学部 講師)



私たちの健康は、医療や福祉サービスだけでなく、日々の生活行為、家庭や地域での役割、楽しみや人とのつながりなど、「その人らしい暮らし」と深く関わっています。「その人らしい暮らし」を適切に営むことができない状態のことを「作業機能障害」といい、近年、健康や幸福感との関係が明らかにされています。

本講座では、「作業機能障害」の考え方やエビデンスを手がかりに、暮らしの中の活動や役割、社会参加が健康や生活の質にどのように関わるのかを考えます。また、その人らしい暮らしを支えるための生活理解と支援の視点について、研究知見や地域実践への応用例を交えながら紹介します。医療・福祉・介護の現場で活かせる生活支援のあり方を考える講座です。

講 義

その人らしい暮らしと健康の関係

- ・生活のしづらさ（作業機能障害）って？
- ・作業機能障害と健康の関係

演 習

「作業機能障害」を可視化しよう

- ・作業機能障害の状態の理解
- ・”生活のしづらさ”に対する支援の考え方



高知県立大学 社会福祉学部 講師 清家 庸佑
博士（保健学）／認定作業療法士

作業療法学を専門とし、日々の生活行為、役割、楽しみ、人とのつながりなどの「作業」が、健康や生活の質にどのように関わるのかについて研究・教育を行っている。特に、生活のしづらさとしての作業機能障害に注目し、その評価や支援方法に関する研究に取り組んでいる。また、作業機能障害や「その人らしい暮らし」を支える支援をテーマに、学術論文、書籍の執筆、メディア出演なども行っており、研究・教育の各方面から「人の暮らしと健康」を支える視点を発信している。

日本臨床作業療法学会 理事 / 日本精神障害者リハビリテーション学会 学術編集委員